

Sun Blade X4-2B ESX ソフトウェアインストールガイド

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントを、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供する場合は、次の通知が適用されます。

U.S. GOVERNMENT END USERS:

Oracle programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, delivered to U.S. Government end users are "commercial computer software" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, use, duplication, disclosure, modification, and adaptation of the programs, including any operating system, integrated software, any programs installed on the hardware, and/or documentation, shall be subject to license terms and license restrictions applicable to the programs. No other rights are granted to the U.S. Government.

このソフトウェアもしくはハードウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアもしくはハードウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する場合、安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（redundancy）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアもしくはハードウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したこと起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

OracleおよびJavaはOracle Corporationおよびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

Intel、Intel Xeonは、Intel Corporationの商標または登録商標です。すべてのSPARCの商標はライセンスをもとに使用し、SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMDロゴ、AMD Opteronロゴは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標または登録商標です。UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

このソフトウェアまたはハードウェア、そしてドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても一切の責任を負いかねます。

目次

このドキュメントの使用方法	5
Sun Blade X4-2B モデル名	5
最新のファームウェアおよびソフトウェアの取得	5
ドキュメントとフィードバック	6
このドキュメントについて	6
サポートとトレーニング	7
寄稿者	7
変更履歴	7
VMware ESXi 5 のインストールについて	9
インストールのタスクマップ	9
VMware ESXi 5 およびサーバーモジュールのドキュメント	10
サポートされるソフトウェアバージョン	10
ソフトウェアのインストールオプション	11
対話式インストールの方法	11
ESXi 5 のインストールの準備	13
ローカルインストールのセットアップ	13
リモートインストールのセットアップ	14
必要な情報の収集	15
BIOS モードの設定	16
仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定	17
VMware ESXi 5 のインストール	19
VMware ESXi 5 のインストール (ローカルまたはリモートの対話式インストール)	19
VMware ESXi 5 ドライバのインストール	20
VMware ESXi 5 の更新	21
索引	23

このドキュメントの使用方法

このセクションでは、システムの最新のファームウェアとソフトウェア、ドキュメントとフィードバック、およびドキュメント変更履歴の入手方法を説明します。

- 5 ページの「Sun Blade X4-2B モデル名」
- 5 ページの「最新のファームウェアおよびソフトウェアの取得」
- 6 ページの「ドキュメントとフィードバック」
- 6 ページの「このドキュメントについて」
- 7 ページの「サポートとトレーニング」
- 7 ページの「寄稿者」
- 7 ページの「変更履歴」

Sun Blade X4-2B モデル名

名前は Sun Blade **X4-2B** サーバーモジュールを識別します。

- 1: アルファベットの X は x86 製品を示します。
- 2: 最初の数字 4 はサーバーの世代を示します。
- 3: 2 番目の数字 2 は、プロセッサの数を示します。
- 4: アルファベットの B は、製品がブレードサーバーであることを示します。

最新のファームウェアおよびソフトウェアの取得

Oracle x86 サーバー、サーバーモジュール (ブレード)、およびブレードシャーシのファームウェア、ドライバ、およびその他のハードウェア関連ソフトウェアは、定期的に更新されています。

最新バージョンは次の 3 つのうちいずれかの方法で入手できます。

- Oracle System Assistant - これは、Sun Oracle x86 サーバー用の、出荷時にインストール済みのオプションです。OSA は必要なすべてのツールとドライバを備えており、ほとんどのサーバーに取り付けられている USB ドライブに格納されています。
- My Oracle Support - <http://support.oracle.com>
- 物理メディアのリクエスト

詳細については、『Sun Blade X4-2B 設置ガイド』の「サーバーファームウェアおよびソフトウェアアップデートの入手」を参照してください。

ドキュメントとフィードバック

ドキュメント	リンク
すべての Oracle 製品	http://www.oracle.com/documentation
Sun Blade X4-2B サーバーモジュール	http://www.oracle.com/goto/X4-2B/docs
X4 サーバーシリーズのシステム管理	X4 シリーズサーバー向け Oracle x86 管理ガイド (http://www.oracle.com/goto/x86AdminDiag/docs)
Oracle System Assistant	X4 シリーズサーバー向け Oracle x86 管理ガイド (http://www.oracle.com/goto/x86AdminDiag/docs)
Oracle Integrated Lights Out Manager (ILOM) 3.1	http://www.oracle.com/goto/ILOM/docs
Oracle Hardware Management Pack	http://www.oracle.com/goto/OHMP/docs
シャーシ Sun Blade 6000 モジュラーシステム	http://www.oracle.com/goto/SB6000/docs

このドキュメントについてのフィードバックは <http://www.oracle.com/goto/docfeedback> からお寄せください。

このドキュメントについて

このドキュメントセットは、PDF および HTML の両形式で入手できます。情報はトピックに基づく形式 (オンラインヘルプと同様) で表示されるため、章、付録、およびセクション番号は含まれません。

特定のトピック (ハードウェア設置やプロダクトノートなど) に関するすべての情報が含まれる PDF を生成するには、HTML ページの左上にある PDF ボタンをクリックします。

サポートとトレーニング

次の Web サイトに追加のリソースがあります。

- サポート:<http://support.oracle.com>
- トレーニング:<http://education.oracle.com>

寄稿者

主著者: Lisa Kuder、Ray Angelo、Mark McGothigan

寄稿者: Mike Ma、Qing-su Hu、Lu Wei、Cynthia Chin-Lee、Michael Tabor、Ralph Woodley

変更履歴

次の一覧はこのドキュメントセットのリリース履歴です。

- 2013 年 9 月初版。

VMware ESXi 5 のインストールについて

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

説明	リンク
インストールのタスクの順序付けされたリスト	9 ページの「インストールのタスクマップ」
使用可能なドキュメントに関する情報	10 ページの「VMware ESXi 5 およびサーバーモジュールのドキュメント」
サポートされている ESXi ソフトウェアのバージョンに関する情報	10 ページの「サポートされるソフトウェアバージョン」
ESXi ソフトウェアのインストールオプションの説明	11 ページの「ソフトウェアのインストールオプション」
このドキュメントで説明されている使用可能な単一サーバーのインストール方法のリスト	11 ページの「対話式インストールの方法」

インストールのタスクマップ

次の表に、VMware ESXi ソフトウェアの大まかなインストールタスクを示します。

手順	タスク	リンク
1	VMware ESXi 5 ドキュメントにアクセスします。	10 ページの「VMware ESXi 5 およびサーバーモジュールのドキュメント」
2	サポートされている VMware ESXi バージョンについて学習します。	10 ページの「サポートされるソフトウェアバージョン」
3	VMware ESXi 5 のサーバーインストールオプションについて学習します。	11 ページの「ソフトウェアのインストールオプション」
4	使用する対話式インストールの方法を決定します (必要な場合)。	11 ページの「ソフトウェアのインストールオプション」
5	VMware ESXi 5 のインストールのためにサーバーモジュールを準備します。	13 ページの「ESXi 5 のインストールの準備」

手順	タスク	リンク
6	使用可能ないずれかのオプションを使用して VMware ESXi 5 ソフトウェアをインストールします。	19 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」
7	VMware ESXi 5 ソフトウェアを更新します。	21 ページの「VMware ESXi 5 の更新」

VMware ESXi 5 およびサーバーモジュールのドキュメント

VMware ESXi 5 のドキュメントは次で入手できます。

<http://pubs.vmware.com/vsphere-50/index.jsp>

サーバーに関する最新情報は、『Sun Server X4-2B プロダクトノート』で保持されています。このドキュメント、その他のサーバー固有のドキュメント、および関連ドキュメントは、次のサーバーモジュールドキュメントライブラリでオンラインで入手できます。

<http://www.oracle.com/goto/X4-2B/docs>

関連情報

- [11 ページの「ソフトウェアのインストールオプション」](#)
- [19 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」](#)

サポートされるソフトウェアバージョン

このサーバーのリリースの時点でサポートされる VMware ESXi のバージョンは、5.0 U2 および 5.1 U1 です。

追加のサポートされる ESXi バージョンおよびサーバーの更新に関する詳細は、次を参照してください。

<https://wikis.oracle.com/display/SystemsComm/Sun+Blade+Systems+Products#tab:Operating-Systems>

ソフトウェアのインストールオプション

このドキュメントでは、ローカルおよびリモートでの ESXi 5.0 の対話式インストールについて説明します。ソフトウェアのインストールについては、ほかにも VMware ESXi 5.0 のドキュメントに記載されているオプションがあります。

VMware ESXi 5.0 では、次のインストールオプションを利用できます。

- **ESXi** の対話式インストール: サーバーが 5 台未満のインストールの場合は、この方法をお勧めします。
このドキュメントで説明する対話式インストール方法については、[11 ページの「対話式インストールの方法」](#)を参照してください。
- スクリプトによる **ESXi** のインストール: スクリプトの実行は、無人のインストールで複数の ESXi ホストを配備するための効率的な方法です。
スクリプトによるインストールの手順については、xSphere 5.0、ESXi 5.0、および vCenter Server 5.0 の『vSphere のインストールとセットアップ』を参照してください。
- **vSphere Auto Deploy** による **ESXi** のインストール: vSphere Auto Deploy による ESXi のインストールでは、vCenter Server で多数の ESXi ホストを効率的にプロビジョニングおよび再プロビジョニングできます。
Auto Deploy によるインストールの手順については、xSphere 5.0、ESXi 5.0、および vCenter Server 5.0 の『vSphere のインストールとセットアップ』を参照してください。
- **ESXi Image Builder CLI**: ESXi Image Builder を使用して、カスタマイズされた更新、パッチ、およびドライバのセットを含む ESXi インストールイメージを作成できます。
ESXi Image Builder CLI の詳細は、xSphere 5.0、ESXi 5.0、および vCenter Server 5.0 の『vSphere のインストールとセットアップ』を参照してください。

関連情報

- [10 ページの「VMware ESXi 5 およびサーバーモジュールのドキュメント」](#)
- [19 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」](#)

対話式インストールの方法

サーバーの数が少ない配備では、対話式インストールをお勧めします。

このドキュメントでは、単一サーバーへのリモートまたはローカルインストール用にインストール環境を設定する手順について説明します。PXE の対話式インストールの詳細は、xSphere 5.0、ESXi 5.0、および vCenter Server 5.0 の『vSphere のインストールとセットアップ』を参照してください。

メディアの配布方法	その他の要件
ローカルでの CD/DVD/USB ドライブの使用 - サーバーまたはサーバー USB ドライブに接続した物理 CD/DVD ドライブを使用します。	モニター、USB キーボードとマウス、USB CD/DVD ドライブ、および ESXi 5.0 配布メディア。
リモートでの CD/DVD ドライブまたは CD/DVD の ISO イメージの使用 - Oracle ILOM リモートコンソールアプリケーションを実行しているリモートシステム上の、リダイレクトされた物理 CD/DVD ドライブを使用します。	ブラウザを備えたリモートシステム、接続された物理 CD/DVD ドライブ、ESXi 配布メディア、およびサーバーの管理ポートへのネットワークアクセス。
PXE イメージ - PXE サーバーにインストールされた OS イメージを使用します。	OS イメージがインストールされた PXE サーバー。

関連情報

- [13 ページの「ESXi 5 のインストールの準備」](#)
- [19 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」](#)

ESXi 5 のインストールの準備

次の表に、ESXi 5 の対話式インストールを準備するための大まかな手順をまとめてあります。

注 - PXE サーバーを使用して ESXi 5 の対話式インストールを実行することもできます。PXE サーバーを使用した ESXi のインストールについては、vSphere 5.0、ESXi 5.0、および vCenter Server 5.0 の『vSphere のインストールとセットアップ』を参照してください。

説明	リンク
該当する手順を使用して、インストール環境をセットアップします。	13 ページの「ローカルインストールのセットアップ」 14 ページの「リモートインストールのセットアップ」
インストールに必要な情報を収集します。	15 ページの「必要な情報の収集」
BIOS ブートモードを設定します (必要な場合)。	16 ページの「BIOS モードの設定」
仮想ディスクを作成します (必要な場合)。	17 ページの「仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定」

▼ ローカルインストールのセットアップ

- 始める前に
- 次のものがあることを確認します。
 - サーバー UCP ポートに接続されたマルチポートドングルケーブル。
 - DVD-ROM ドライブ
 - USB キーボードとマウス
 - モニター
 - サーバーのハードウェアクロックが UTC に設定されていることを検証します。この設定は、システム BIOS 内にあります。
 - ネットワークストレージの切り離しを検討します。このアクションにより、インストーラが利用できるディスクドライブを検索するのにかかる時間が短縮されません。

注-ネットワークストレージを切り離すと、切り離されたディスク上のすべてのファイルがインストール時に利用できなくなります。既存の ESX または ESXi インストールを含む LUN は切り離さないでください。既存の ESX インストールのサービスコンソールを含む VMFS データストアは切り離さないでください。これらのアクションは、インストールの結果に影響を及ぼす可能性があります。

- 1 『Sun Server X4-2B プロダクトノート』 および VMware のドキュメントを参照してください。
 - Sun Blade X4-2B のドキュメントは、次で入手できます。
<http://www.oracle.com/goto/X4-2B/docs>
 - VMware ESXi 5 ソフトウェアのドキュメントは、次で入手できます。
<http://pubs.vmware.com/vsphere-50/index.jsp>
- 2 VMware の Web サイトから VMware ESXi 5 イメージ(.iso) ファイルのコピーをダウンロードします。
<http://www.vmware.com/download/>
- 3 .iso ファイルのコピーを DVD または USB ドライブに書き込みます。
- 4 次をマルチポートドングルケーブルに接続します。
 - DVD-ROM ドライブ (必要な場合)
 - USB キーボードとマウス
 - モニター

サーバーの配線方法の詳細は、『Sun Blade X4-2B 設置ガイド』を参照してください

- 次の手順
- 17 ページの「仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定」
 - 19 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」

▼ リモートインストールのセットアップ

始める前に リモートインストール用にセットアップするには、次が必要です。

- DVD-ROM ドライブ
 - USB キーボードとマウス
 - モニター
- 1 『Sun Blade X4-2B プロダクトノート』 および VMware のドキュメントを参照してください。
 - Sun Blade X4-2B のドキュメントは、次で入手できます。

<http://www.oracle.com/goto/X4-2B/docs>

- VMware ESXi 5 ソフトウェアのドキュメントは、次で入手できます。

<http://pubs.vmware.com/vsphere-50/index.jsp>

- 2 次のいずれかの方法で <http://www.vmware.com/download/> から VMware ESXi 5 ソフトウェアをダウンロードします。
 - VMware ESXi 5 ソフトウェアをダウンロードし、ダウンロードした .iso イメージを使用してインストール CD/DVD を作成します。
 - リモートサーバーにソフトウェアをダウンロードします。
- 3 次のリモートサーバーに接続します。
 - DVD-ROM ドライブ(メディアからインストールする場合)
 - USB キーボードとマウス
 - モニター
- 4 Oracle ILOM リモートコンソールをセットアップします。
Oracle ILOM リモートコンソールのセットアップ手順については、『[Sun Blade X4-2B Installation Guide](#)』を参照してください。

- 次の手順
- 17 ページの「仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定」
 - 19 ページの「VMware ESXi 5 のインストール」

必要な情報の収集

対話式インストールでは、必要なシステム情報を求めるプロンプトがシステムで表示されます。スクリプトによるインストールでは、インストールスクリプトでこの情報を指定する必要があります。

将来の使用に備えて、インストール中に使用する値をメモしておいてください。これらのメモは、ESXi を再インストールし、最初に選択した値を再入力する必要がある場合に役に立ちます。

情報	必須またはオプション	デフォルト値	コメント
キーボードレイアウト	必須	U.S. 英語	
VLAN ID	オプション	なし	範囲:0 から 4094

情報	必須またはオプション	デフォルト値	コメント
IP アドレス	オプション	DHCP	インストール中に DHCP がネットワークを構成できるようにすることができます。インストール後、ネットワーク設定を変更できます。
サブネットマスク	オプション	IP アドレスに基づいて計算される	
ゲートウェイ	オプション	構成された IP アドレスおよびサブネットマスクに基づく	
プライマリ DNS	オプション	構成された IP アドレスおよびサブネットマスクに基づく	
セカンダリ DNS	オプション	なし	vSphere クライアントは、ESXi ホストにアクセスするためにホスト名または IP アドレスを使用できます。
ホスト名	静的な IP 設定の場合は必須	なし	
インストール場所	必須	なし	1つのディスクにコンポーネントをインストールする場合は、少なくとも 5GB が必要です。
既存の ESX または ESXi 設定を移行します。既存の VMFS データストアを保持します。	既存の ESXi または ESX インストールを含むドライブに ESXi をインストールする場合は必須。	なし	ESXi ドキュメントで、「既存の ESX/ESXi インストールまたは VMFS データストアを持つドライブへの ESXi のインストール」を参照してください。
root パスワード	オプション	なし	root パスワードには、6 から 64 文字が含まれている必要があります。

▼ BIOS モードの設定

BIOS ファームウェアは、レガシー BIOS と UEFI (Unified Extensible Firmware Interface) の両方をサポートしていますが、デフォルト設定は「Legacy」です。ESXi がレガシー BIOS と UEFI BIOS の両方をサポートしている場合は、OS のインストールを実行する前に、レガシーモードと UEFI モードのどちらかに BIOS を設定できます。

注- ネットワーク経由で VMware ESXi 5.0 インストールを実行する場合は、UEFI BIOS はサポートされません。デフォルトのレガシー BIOS モードを使用する必要があります。

- 1 サーバーの電源を入れます。
コンソールに POST メッセージが表示されます。
- 2 メッセージに注目し、プロンプトが表示されたら、**F2** を押して **BIOS 設定ユーティリティー** にアクセスします。
BIOS 設定ユーティリティーのメイン画面が表示されます。
- 3 **BIOS 設定ユーティリティー** で、左右の矢印キーを使用して「**Boot**」画面に移動します。
「Boot Menu」画面が表示されます。
- 4 下矢印キーを使用して、「**UEFI/BIOS Boot Mode**」フィールドを選択します。
- 5 **Enter** を押し、上下の矢印キーを使用して、「**Legacy**」または「**UEFI BIOS**」オプションを選択します。
- 6 変更を保存して **BIOS 設定ユーティリティー** を終了するには、**F10** キーを押します。

- 次の手順
- 17 ページの「[仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定](#)」
 - 19 ページの「[VMware ESXi 5 のインストール](#)」

仮想ディスクの作成およびブートディスクの設定

Sun Storage RAID 6Gb/s SAS **RAID** REM HBA (SGX-SAS6-R-REM-Z) がサーバーモジュールに取り付けられている場合は、ESXi 5 ソフトウェアをインストールする前に仮想ディスクを作成する必要があります。『[Sun Blade X4-2B Installation Guide](#)』を参照してください。

Sun Storage 6Gb/s SAS REM HBA (SGX-SAS6-REM-Z) が取り付けられている場合は、これを行う必要はありません。

VMware ESXi 5 のインストール

VMware ESX/ESXi 5 のインストールには次の手順が含まれます。

手順	説明	リンク
1	ローカルまたはリモートメディアを使用して VMware ESXi 5 をインストールします。	19 ページの「VMware ESXi 5 のインストール (ローカルまたはリモートの対話式インストール)」
2	VMware ESXi 5 ソフトウェアおよびドライバを更新します。	21 ページの「VMware ESXi 5 の更新」

注 - PXE サーバーを使用して ESXi 5 の対話式インストールを実行することもできます。PXE サーバーを使用した ESXi のインストールについては、ESXi 5.0 のインストールおよびセットアップのドキュメントを参照してください。

▼ VMware ESXi 5 のインストール (ローカルまたはリモートの対話式インストール)

始める前に 13 ページの「ESXi 5 のインストールの準備」の準備手順をすべて完了します。

- 1 サーバーのインストールガイドに記載されている方法のいずれかを使用してサーバーコンソールに接続します。手順については、次のいずれかを参照してください。
 - 13 ページの「ローカルインストールのセットアップ」
 - 14 ページの「リモートインストールのセットアップ」
- 2 サーバーの電源を入れるか、リセットします。コンソールに BIOS メッセージが表示されます。
- 3 ローカルまたはリモートサーバーに配布メディアを挿入します。コンソールに別の BIOS メッセージが表示されます。

- 4 メッセージで一連の選択肢が表示されたら、**F8** キーを押します。

```

Initializing USB Controllers .. Done.
Press F2 to run Setup (CTRL+E on Remote Keyboard)
Press F8 for BBS POPUP (CTRL+P on Remote Keyboard)
Press F12 to boot from the network (CTRL+N on Remote Keyboard)

```

しばらくすると、メニューでブートデバイスが選択できるようになります。

```

Please select boot device:
-----
USB CD/DVD
PXE:IBA GE Slot 1000 v1331
PXE:IBA GE Slot 1001 v1331
PXE:IBA GE Slot 4100 v1331
PXE:IBA GE Slot 4101 v1331
PXE:IBA GE Slot 8100 v1331
PXE:IBA GE Slot 8101 v1331
PXE:IBA GE Slot C100 v1331
PXE:IBA GE Slot C101 v1331
-----

```

- 5 リストから **CD/DVD** または **USB** ドライブを選択します。
制御がメディア上の OS インストールプログラムに移ります。
- 6 **VMware vSphere 5** のドキュメントの手順に従ってインストールを完了します。
10 ページの「[VMware ESXi 5 およびサーバーモジュールのドキュメント](#)」を参照してください。

- 次の手順
- [20 ページの「VMware ESXi 5 ドライバのインストール」](#)
 - [21 ページの「VMware ESXi 5 の更新」](#)

▼ VMware ESXi 5 ドライバのインストール

Sun Blade 6000 Virtualized 40GbE NEM がシャーシにインストールされている場合、この NEM 用のドライバをインストールする必要があります。Sun Blade X4-2B でサポートされるその他の NEM では、追加のドライバは必要ありません。

Sun Blade 6000 Virtualized 40GbE NEM 用のドライバをインストールするには、次の手順を行います。

- 1 **VMware** サイトで次を検索します。
VMware ESXi 5.0 Driver CD for Oracle Sun Blade 6000 Virtualized Network Express Module - 7100090
- 2 ドライバをダウンロードします。

- 3 ドライバをインストールします。
- 4 サーバーを再起動します。

次の手順 ■ 21 ページの「VMware ESXi 5 の更新」

▼ VMware ESXi 5 の更新

- 1 VMware の Web サイトを調べて、利用できる更新があるかどうかを確認します。
<http://www.vmware.com/support>
- 2 VMware ESXi 5 の更新を実行する前に、ESXi 5.0 のインストールおよびセットアップのドキュメントを参照してください。
- 3 VMware の Web サイトで説明されているように、すべての更新をダウンロードしてインストールします。

次の手順 ■ 19 ページの「VMware ESXi 5 のインストール (ローカルまたはリモートの対話式インストール)」
■ 20 ページの「VMware ESXi 5 ドライバのインストール」

索引

B

BIOS, ブートモード、設定 (ESXi), 16-17

E

ESXi

インストール, 13-17

必要な情報, 15

インストールオプション, 11

インストールのセットアップ

リモート, 14-15

ローカル, 13-14

インストールのタスク, 9-12

インストールの方法, 11

更新, 21

対話式インストール

リモート, 19-20

ローカル, 19-20

ドキュメント, 10

ドライバのインストール, 20-21

U

UEFI (Unified Extensible Firmware Interface), 「BIOS
を参照」を参照

V

VMware ESXi, 「ESXi」を参照

さ

サポート対象

オペレーティングシステム

ESXi, 10

し

手動による OS インストール, ESXi, 19-20

つ

ツールおよびドライバ

インストール

ESXi, 19-21

と

ドキュメント, ESXi, 10

ドライバ

インストール

ESXi, 20-21

は

ハードウェアおよびソフトウェア
情報

ESXi, 10

ふ
プロダクトノートドキュメント, ESXi, 10

り
リモートインストール, セットアップ
(ESXi), 14-15

ろ
ローカルインストール, セットアップ
(ESXi), 13-14